

令和5年度事業計画について

I. 運営方針

福岡市の老人クラブの歴史は古く、近代日本の老人クラブの起源といわれている「博多高砂会」は明治26年に結成され、福岡市の発展に貢献するさまざまな活動を展開してきました。

戦後、千代の老松会をはじめ多くの老人クラブが誕生し、福岡市老人クラブ連合会が設立された昭和38年には、27校区に25単位クラブ、2,600名余の会員を擁するまでになっていました。以来、先人たちの熱意と努力によって、現在の市老連が形成され、令和5年1月20日で、創立60周年を迎えました。

現在、我が国では、急速な高齢化により超高齢社会を迎え、人の絆がますます希薄化している状況の中で、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加するなど、私たち高齢者を取り巻く環境はますます厳しいものとなっています。

このような中で、老人クラブは、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織であり、高齢者を主体とする介護予防と相互の生活支援という観点から、その役割は今後もますます期待されるとともに、地域コミュニティの上からも極めて重要となっています。

市老連では、「健康・友愛・奉仕」の三大運動を活動の基本とし、仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動を行うとともに、地域を豊かにする社会活動に取り組み、人生100年時代を見据えた元気な高齢者を増やす明るい長寿社会づくりや保健福祉の向上に努めることを目的に、次の重点目標を推進してまいります。

また、ウイズコロナを見据えて、「新しい生活様式」に基づく感染防止に配慮した老人クラブ活動を推進します。

（重点目標）

1. 高齢者の健康づくり、生きがいづくり、仲間づくりの推進
2. 高齢者の相互支え合い、社会奉仕事業
3. 老人クラブの活動強化・育成・普及啓発事業

II. 事業実施計画

1. 高齢者の健康づくり、生きがいづくり、仲間づくり事業の推進

(1) 健康づくり・介護予防の推進

健康づくりリーダー研修会の開催

(2) 生きがいつくり、仲間づくりの推進

- ①高齢者美術展の開催
- ②高齢者囲碁・将棋大会の開催
- ③高齢者保健福祉大会の開催
- ④高齢者グラウンド・ゴルフ大会の開催
- ⑤高齢者ソフトダーツ大会の開催
- ⑥全国健康福祉祭（ねんりんピックえひめ大会）への参加
- ⑦高齢者ゴルフ大会の実施
- ⑧高齢者農園事業の実施

2. 高齢者の相互支え合い、社会奉仕事業

(1) 友愛訪問活動の充実

1 クラブ1友愛訪問班づくりの推進

(2) 社会奉仕活動及び伝承活動による社会参加

- ①社会奉仕の日（9月20日）における美化活動及び環境にやさしい活動の推進
- ②地域文化の継承など伝承活動の推進

(3) 「地域活動賞」表彰の実施

ボランティア活動や仲間づくり活動、健康づくり活動を通じた地域活動を推進するため、優れた地域活動を実践している老人クラブの表彰

3. 老人クラブの活動強化・育成・普及啓発事業

(1) 会の運営及び関係団体との連携強化

①会の運営

総会、理事会、委員会及び専門部会等の開催

②関係団体及び機関との連携

ア. 全国老人クラブ連合会、九州各県・指定都市老人クラブ連合会連絡協議会との連携、各種事業の実施

イ. 福岡市、福岡市社会福祉協議会、福岡市自治協議会及びその他関係機関との連携、各種事業の推進

(2) 会員増強運動の推進

①運動目標

ア. 1校区1クラブの増

イ. 1クラブあたり会員3人増

(3) リーダー研修の充実

- ①老人クラブリーダー養成研修会の開催
- ②女性部会研修会の開催
- ③全国老人クラブ大会への参加
- ④九州ブロック老人クラブリーダー研修会への参加

(4) 広報紙「ふくふくクラブ福岡」の発行・ホームページでの情報発信

- ①老人クラブの活動状況の紹介など、老人クラブの魅力の発信
- ②生活や地域の情報など、老人クラブに関する情報の発信

(5) 会員の福利厚生事業等の推進

- ①「指定旅館」及び「指定日帰り温泉施設」事業の推進
- ②老人クラブ傷害保険及び老人クラブ賠償責任保険の加入促進
- ③老人クラブ会員章及び図書等の普及促進